

2025 年度事業報告

【事業に関する報告】

I 子ども専用電話・オンラインチャットの開設事業

1 電話受信状況

専用電話の開設日は、平日の毎週オンラインチャット実施日以外の月・水曜日に午後4時から9時までの時間帯で電話回線1回線にて実施しました。開設日数は48日（昨年度は49日）、総着信数1,724件（同1,470件）、会話成立は456件（同416件）でした。1日当たりでは、着信数が35.9件（同30.0件）で、会話成立数は9.5件（同8.5件）で、会話成立率は26.5%（同28.3%）でした。

（受信内容は、「資料集」に掲載）

2 オンラインチャット受信状況

オンラインチャットの開設日は、平日の第1,3月曜日と第2,4水曜日に午後4時から9時までの時間帯でパソコン2台稼働体制にて実施しました。また、「夏の全国キャンペーン」に8月2日（土）15時から22時まで時間を延長し参加しました。開設日数は43日（昨年度は44日）、割当て件数1,815件（同1,733件）、対応件数647件（同665件）、会話成立は641件（同416件）でした。1日当たりの対応件数は15.0件（同15.1件）、会話成立数は14.9件（同14.3件）、会話成立率は99.1%（同94.6%）でした。

（受信内容は、「資料集」に掲載）

II 研修事業

1 受け手 第21期インターン研修

受け手第21期インターン研修は、1月18日～4月25日の期間で計5回開催しました。研修生5名がオンライン Zoom も使ってチャット体験や電話ロールプレイ等を行いました。

（研修開催日時と内容は「資料集」に記載）。

2 第22期 受け手養成研修

第22期受け手養成研修は7月11日～8月12日の期間で受講生の募集を行い、8名の方から応募がありました。研修は8月上旬から12月末までの約5か月の期間で、オンライン Zoom にて実施。チャイルドライン支援センターが作成した担い手育成動画教材（全9本）の配信を行い、視聴後に研修生からレポートを提出していただいた後、担当講師によるレポートの評価や動画内容の解説等の講義（全6回）を行いました。研修生募集に当たっては、北海道新聞をはじめ地元の団体の協力をいただきました。

（研修開催日時、内容は「資料集」に記載）

3 受け手 22期インターン研修

第22期受け手インターン研修は、22期受け手養成研修を修了した研修生8名を対象に、2026年2月14日より開催。2026年3月末時点で2回の対面研修を実施し、電話・チャット相談のロールプレイ等を行いました。

（研修開催日時、内容は「資料集」に記載）

4 受け手継続研修

2025年度受け手継続研修は、5月22日～2026年3月26日の期間で全5回開催。対面研修及びオンライン Zoom にて子どもの現状についての講義等を行いました。

（研修開催日時、内容は「資料集」に記載）

5 21 期認定式及び全体交流会の開催

5月22日（金）札幌市社会福祉総合センターにて受け手・支え手、新規受け手認定者、運営関係者等計18名が参加し、新規受け手の認定及びチャイルドラインほっかいどう全体の意思疎通や情報共有を図りました。

Ⅲ 広報啓発事業

1 「夏の全国キャンペーン」放課後児童クラブ等へのポスター配布の取り組み

チャイルドラインでは、「厚労省補助事業」として子どもたちの心が不安定になる夏休み明け前後の8月22日から9月4日までの間、子どもの声や気持ちを集中して受けとめるため「夏の全国キャンペーン」を実施しています。

「CLほっかいどう」も、チャットの特別開設を行うとともに、夏休み中も子どもが集める放課後児童クラブや児童会館等に「キャンペーン用ポスター」等を送り、館内掲示をお願いしています。

2025年度のポスター掲示依頼については、総会で確認した「昨年は札幌市児童会館のキャンペーンポスターの掲示を依頼しましたが～他市町村の学童保育施設にも順次拡大していく方向で取り組みます」に基づき、札幌、旭川、函館、苫小牧、帯広、釧路の各都市に、合計640カ所の児童クラブ等にポスターを送りました。

なお、ポスター購入費や郵送費などの経費として、公益財団法人北海道地域活動振興協会のボランティア活動支援事業助成を受けました。

（ポスターの配布箇所と枚数等は「資料集」に記載）

【運営に関する報告】

I 会議の開催状況

1 総会の開催

2025年度（第24回）通常総会

2025年5月22日に札幌市ボランティア活動センター研修室Aで開催。正会員数118人のうち本人出席24人、委任21人、書面議決23人により2024年度事業報告、同活動決算報告、同会計監査報告、2025年度事業計画、同予算、役員選出（理事の補充）のすべての議案を可決しました。

2 理事会

開催状況は通りです。

第1回 2025年6月26日 札幌市ボランティア活動センター研修室A

- ・運営委員会規則の改正について
- ・事務局移転について
- ・会員拡大、会員区分検討について

第2回 2025年12月20日 オンライン会議「Zoom」

- ・事務局移転について
- ・会員区分の改正について

第3回 2026年3月31日 オンライン会議「Zoom」

3 運営委員会

開催日と主な協議事項は以下の通り。開催はすべてオンライン会議 ZOOM で行いました

第1回 2025年4月8日 ・2025年度通常総会の開催について等

- 第2回 2025年5月13日 ・第21期受け手認定式について等
- 第3回 2025年6月17日 ・第22期受け手養成研修の研修生募集について等
- 第4回 2025年7月15日 ・運営委員会規則の改正について等
- 第5回 2025年8月19日 ・第22期受け手養成研修開講について等
- 第6回 2025年9月16日 ・支援センター「オンラインチャット意見交換会」について等
- 第7回 2025年10月21日 ・札幌光星学園での収穫祭における募金活動について等
- 第8回 2025年11月18日 ・支援センター「全国研修」の参加について等
- 第9回 2025年12月16日 ・事務局引越しについて等
- 第10回 2025年1月20日 ・チャットの日曜開設について等
- 第11回 2025年2月17日 ・事務局電話番号とメールアドレスの変更について等
- 第12回 2025年3月17日 ・私書箱廃止について等

4 チャイルドライン支援センター・エリア関係

●支援センター

- ・2025年6月14日 2025年度通常総会（欠席により書面表決書提出）
 - ・2025年6月16日 チャット用パソコン2台借受
 - ・2025年7月19日 電話に関する意見交換会（田辺）
 - ・2025年8月22日～9月4日 チャイルドライン「2025全国夏のキャンペーン」
 - ・2025年8月31日 チャットに関する意見交換会（渋谷）
 - ・2025年11月15.16日 全国研修・キャンペーン月間イベント（古川）
 - ・2025年12月20日 運営者会議（古川）
 - ・2026年3月9日 臨時総会（欠席により書面表決書提出）
- <支援センター助成・担い手増員のための研修（自死予防）支援事業>
- ・2025年8月22日 「思春期の性～子どもたちの危険な現状にどう関わっていくか」
講師・山崎真紀さん（チャイルドラインかごしま代表・助産師・思春期保健相談士）
 - ・2025年9月26日 「いじめの現状や不登校の相談についての対応事例」
講師・神田一希さん（児童養護施設興正学園・公認心理師）
 - ・2025年11月28日 「性に係る相談についてのロールプレイ研修」
講師・山崎真紀さん（チャイルドラインかごしま代表・助産師・思春期保健相談士）
 - ・2025年12月4日 「子どもの居場所作りを通じた若者支援について」
講師・松田 考さん（さっぽろ青少年女性活動協会 こども若者支援担当部長）
 - ・2025年12月20日 「「死にたい」等の困難な相談対応事例について」
講師・渡邊洋平さん（CLほっかいどう理事・中の島興正保育園長）

●北海道・東北エリア会議

- ・2025年9月26日 エリア会議（田辺、渋谷）
- ・2025年11月23日 エリア研修（田辺、渋谷）
- ・2026年1月15日 エリア会議（渋谷）

II 会員等の状況

2024年度中の正会員は、受け手第21期生などの新加入もあり、最終的には4人増となりました。各会員の増減状況は下記のとおりです。退会者の主な理由は、会費未納（2年間）です。

【2025年度各会員数の状況】

	2025年4月初	2026年3月末	加入・退会者	増減
正会員	111人	115人	(加入) 14人 (退会) 10人	4人増
一般会員・個人	17人	17人	(加入) 0人 (退会) 0人	増減0
一般会員・団体	16団体	17団体	(加入) 1人	1団体増

			(退会) 0人	
サポート会員	47人	53人	(加入) 6人 (退会) 0人	6人増

Ⅲ その他

1 運営委員会規則の改正

運営委員会での議論を踏まえ、以下の内容で運営委員会規則を改正しました。

- ・部の名称について、受け手電話部を受け手部に、支え手電話部を支え手部に変更
- ・チャット実施に関する文言を「子ども専用電話等」及び「電話等」に変更
- ・各部の部長選出に当たっては「部員から互選」することを明記した

2 事務局の移転

入居ビルの解体に伴う家主からの退去依頼を受け、2025年12月、現住所に事務局を移転しました。移転にかかる経費については、不用家具等の処分を含め下記のとおりです。

《入居契約にかかる経費》

合計金額 293,030円

※仲介手数料、敷金、家賃保証料、12月分家賃（日割）など

《その他経費》

合計金額 201,300円

※引越し料91,300円、不用家具等処分費110,000円

※月額家賃等の内訳

家賃 60,500円

共益費 5,500円

24時間コールセンター料 1,100円

保証会社月額保証料 800円

口座振替手数料 330円

合計 68,230円

3 支援団体関係

(2025年)

- ・5月12日 札幌南ロータリークラブの例会（水口）
- ・4月17日 札幌レ・リアンライオンズクラブ記念式典（田辺）
- ・10月4日 札幌トラストライオンズクラブ「収穫物販売会 in 札幌光星学園」（川口谷、早崎、三保）
- ・2月24日 白樺ライオンズクラブ45周年例会（川口谷）
- ・12月24日 北海道信用金庫ひまわり財団助成金授与（川口谷）

4 助成金・寄付金

2025年度の助成金、寄付金を受領した団体・個人は以下の通りです。

(助成金)

- ・公益財団法人地域活動振興協会「ボランティア活動支援事業助成金」 30,000円
(チャイルドライン「全国夏のキャンペーン」ポスターの配布)
- ・チャイルドライン支援センター 105,000円(担い手増員のための研修《自死予防》)

支援)
 ・北海道信用金庫ひまわり財団 50,000 円

(寄付金・敬称略)

◆企業・団体

札幌レ・リアンライオンズクラブ
 (株)ふじ研究所
 札幌南ロータリークラブ
 様似ロータリークラブ
 日本キリスト教会札幌北一条教会
 (株)小林石材
 札幌ユネスコ協会

米村 裕
 井上 達治
 志比川 弘子
 佐々木 由美
 澁谷 千秋
 高村 洋子
 渡邊 洋平
 大嶋 薫
 牧瀬 好弘
 小林 恵美子
 長田 るり子
 鈴木 和子
 西永 和明
 山本 勉
 佐藤 哲夫
 大塚 三千世
 藤原 百代

◆個人

金坂 和正
 水口 章
 川口谷 正
 坂本 裕子
 山崎 孝雄
 吉田 保之
 堀川 輝男
 今川 民雄

現物寄付をいただいた方(団体)については、財務諸表の注記に記載しています。

5 募金箱の設置活動

市民のみなさんにチャイルドラインを支援してもらおうと、お店や事務所にチャイルドライン募金箱を設置しています。企画渉外部が中心になって、202年3月末現在で11事業所(札幌8、函館2、北広島1)のご協力をいただき、募金合計額は205,767円になりました。

(募金箱設置個所は別紙「資料集」に記載)

6 札幌市子どものための相談窓口連絡会議(事務局・札幌市子どもの権利救済事務局)

2025年9月2日 連絡会議(欠席)

2026年2月27日 連絡会議(田辺)

7 札幌法務局 人権作文コンクール審査会(審査委員に田辺代表理事就任)

2025年10月21日 審査会(田辺)

8 メディア等の取材

2025年6月16日 札幌光星高校新聞部(田辺)

2025年7月23日 北海道新聞「受け手養成研修」の受講生募集(水口)

※8/11に掲載、「道新善意のボランティア欄」には7/2掲載

IV 各部の活動報告

研修部

・各研修の企画運営、講師調整連絡、当日の運営等

- ・第21期認定式及び企画渉外部と合同で全体交流会の実施
- ・オンライン Zoom 及び事務局にて研修部会の実施（計4回）
5月22日（木）・6月19日（木）・8月29日（金）・10月17日（木）

受け手電話部

- ・電話統計データの作成
- ・休務・辞退者及び復帰者の対応
- ・受け手誓約書の取り扱い
- ・受け手担当状況の把握
- ・受け手部会議開催 6月30日（水）・9月24日（水）・2月25日（水）

支え手電話部

- ・データベース追加事項（事例報告）対応
- ・受け手アンケート集計結果報告・考察：事務局内に掲示
- ・情報提供・緊急マニュアルについて検討
- ・受け手、支え手間の問題時は、支え手部長、受け手部長、代表にて検討する仕組み作り
- ・受け手と支え手間で意見の相違を解消できなかった場合、代表、受け手部長、支え手部長が相談窓口となることを知らせる掲示を6月30日に電話ブース付近にしました。
- ・復帰者1名 支え手間で了承

（支え手会議の開催状況）

4月24日第1回

インターン認定確認

9月25日第2回

支え手が担当時間に間に合わない場合→受信活動開始

※30分経っても連絡がつかない場合の指定担当者に連絡先し指示を受ける
活動日に受け手、支え手の担当入れがない場合（当日まで待つ）

10月23日第3回会議

支え手が担当時に来られない場合の対応についてさらに検討

2月19日第4回会議

日曜開設について賛成 月1回前半のみ

3月19日第5回会議

広報部

- ・HP更新（22期受け手養成研修受講生募集等）
- ・札幌市政記者クラブに22期受け手養成研修受講生募集等の投げ込み
- ・チャイルドライン「2025全国夏のキャンペーン」ポスターを札幌市、旭川市、函館市、苫小牧市、帯広市、釧路市の放課後児童クラブ及び児童会館に発送作業
- ・北海道地域活動振興協会に同キャンペーン用ポスターの購入費、郵送費分3万円の助成を申請

企画渉外部

- ・イオン幸せの黄色いレシートキャンペーン 店頭活動
5月、8月、10月、1月、各11日 4回参加 今年度贈呈額 64,100円
- ・募金箱の寄付金回収
2025年度 合計額 205,767円（含む函館からの30,000円の寄付）
- ・企画渉外部用ベスト作成（元企画渉外部員より寄付あり）